

## 2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		峰山クリーンセンター改修事業										
事業の概要	<p>66t/日の可燃ごみを焼却でき、6.7t/日のリサイクルごみを処理できる施設として、平成14年3月から稼働している峰山クリーンセンターは、合併前の旧6町が建設費を負担し広域的に運営され、現在も市内全域の可燃ごみやリサイクルごみを処理している。</p> <p>本施設は、焼却処理において発生する各種のダイオキシン類の発生しにくい焼却炉本体をはじめ、複数設置しているガス冷却設備・通風設備・電気計装設備等を計画的に改修し、常に環境への対策を講じている。</p>											
	事業期間	平成16年度～20年度										
	総事業費	898,000千円	本年度事業費	98,947千円	交付金交付額	12,950千円						
事業評価	事業の必要性	<p>焼却処理において発生する各種の有害物質を限りなく抑制するため、24時間連続運転で常に850度以上の高温燃焼により、ダイオキシン類の抑制を図っている。そのために焼却炉本体の維持や排ガスの急速冷却装置、高性能バグフィルター等を装備するなど、常に環境に配慮した施設として適正な稼動とランニングコストの抑制が必要となっている。</p>										
	事業の有効性	<p>能力低下した設備を計画的に改修・更新することで、環境基準を遵守した可燃ごみの適正処理を行うことができ、あわせて施設の継続稼動を維持することができる。</p>										
	事業の効率性	<p>計画的な施設の改修・更新を行うことにより、市内唯一の可燃ごみ処理施設として効率よく維持管理ができ、またランニングコストに配慮した長期稼動が可能となる。</p>										
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果										
		2 住民の自治意識を高める成果										
		3 リーディング・モデル成果										
<p>4 広域的波及成果</p> <p>通常の法定基準以上に自主的な公害基準を設け、可燃ごみ処理の際に発生するダイオキシン類の発生を抑制する対策を講じることによって、周辺地域への自然環境の保全をはじめ、地球規模での環境保全に配慮できる。</p>												
<p>5 行財政改革に資する成果</p> <p>市域の可燃ごみ処理を1施設で処理することで、維持管理経費の節減を図ることができ、効率的な財政運営が図れる。</p>												
<p>6 その他の成果</p> <p>平成20年度実施内容</p> <table border="0"> <tr> <td>燃焼設備整備</td> <td>ガス冷却設備整備</td> <td>排ガス処理設備整備</td> </tr> <tr> <td>通風設備整備</td> <td>灰出設備整備</td> <td>配管設備整備</td> </tr> <tr> <td>電気計装設備整備</td> <td>リサイクルプラザ設備整備</td> <td></td> </tr> </table>				燃焼設備整備	ガス冷却設備整備	排ガス処理設備整備	通風設備整備	灰出設備整備	配管設備整備	電気計装設備整備	リサイクルプラザ設備整備	
燃焼設備整備	ガス冷却設備整備	排ガス処理設備整備										
通風設備整備	灰出設備整備	配管設備整備										
電気計装設備整備	リサイクルプラザ設備整備											

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		網野最終処分場改修事業				
事業の概要	<p>網野最終処分場では、不燃ごみの処理を行っており、主に網野・丹後・弥栄町地域から搬入された廃棄物の中から再資源可能な廃棄物(金属類や廃家電品)の分別をして、リサイクル処理を行っている。</p> <p>昨年度、施設内機器に異常が発生し、環境基準値を超える水を放流してしまったため、機器の総合点検および施設の改修工事を実施した。</p> <p>また、現在使用しているトラックスケールデータ処理用パソコンが、メーカー生産中止後5年を経過し、保守管理が不可能となるため、新たなパソコンに更新して施設の円滑な稼動に努めた。</p> <p>浸出水処理施設整備工事                      オゾン発生装置点検整備、紫外線促進酸化装置点検整備、第2調整層C号攪拌機点検整備、                      炭酸ソーダ溶解装置整備、炭酸ソーダ注入ポンプ整備、上水加圧ポンプ整備等                      トラックスケールデータ処理装置</p>					
	事業期間	平成20年度～24年度				
	総事業費	67,000千円	本年度事業費	20,779千円	交付金交付額	6,100千円
事業評価	事業の必要性	平成19年5月に水処理機器の異常等により放流水基準値がオーバーし、緊急処置的な点検整備は行ったが、再発防止に向けた機械設備、電気・計装設備等の総合点検および改修工事を行う必要がある。				
	事業の有効性	能力低下した設備を計画的に改修・更新することで、環境基準を遵守した不燃燃ごみの適正処理を行うことができ、あわせて施設の継続稼動を維持することができる。				
	事業の効率性	計画的な施設の改修・更新を行うことにより、環境基準に適合した処理施設を維持することができ、周辺環境汚染が防止できる。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
新規処理施設の整備でなく、施設改修等による適正稼動を継続することで投資的経費やランニングコストを抑制し、効率的な財政運営が図れる。						
6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		し尿処理施設改修事業					
事業の概要	<p>下水道整備による水洗化を推進しているが、計画区域外や供用開始ができていない区域のし尿処理、また個人設置浄化槽や下水道処理施設から排出される汚泥物を処理しなければならないため、能力低下した設備等を計画的に改修・更新することで効率のよい稼働に努めた。</p> <p>網野衛生センター施設 点検整備(前処理設備、ブロー、オゾン設備、ろ過設備、汚泥脱水設備、焼却設備)</p>						
	事業期間	平成17年度～21年度					
	総事業費	265,000千円	本年度事業費	24,690千円	交付金交付額	9,829千円	
事業評価	事業の必要性	本市には3施設のし尿処理施設があるが、なかでも網野衛生センター(昭和62年3月竣工 36kl/日処理能力)は、稼働後20年近く経過しており、設備機器の老朽化や能力低下が著しい。このため、計画的に改修・更新し、適正な処理と稼働に努める必要がある。					
	事業の有効性	計画的に改修・更新することで処理能力を高め、その施設の継続稼働が可能となる。					
	事業の効率性	設備・機器の改修、更新を行うことで効率よく処理でき、ランニングコストに配慮した長期稼働が可能となる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
	新規処理施設の整備でなく、施設改修等による適正稼働を継続することで投資的経費やランニングコストを抑制し、効率的な財政運営が図れる。						
	6 その他の成果						
	下水道接続等によりし尿処理量の減が見込まれるものの、個人設置浄化槽や公共下水道から排出される汚泥は、今後更に増加される見通しであるため、効率的な稼働と施設の延伸に努める。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		地域水洗化先導事業					
事業の概要	<p>公共用水域の水質保全、快適な生活環境の実現や美しい自然環境を継承し、併せて市域の均衡ある発展に資するため、下水道整備による水洗化に取り組み、整備完了区域から順次供用を開始している。環境に配慮した地域水洗化を早期に実現するため、供用開始された区域内にある公共施設等の下水道接続と既存施設の適正閉鎖工事を先導的に実施し、各家庭における水洗化意識の高揚と下水道への速やかな接続を促進する。</p> <p>地域集会施設下水道接続事業補助金 中立公会堂(網野町木津(中立区)地区 平成20年5月末人口:207人、61世帯)</p>						
	事業期間	平成17年度～21年度					
	総事業費	101,000千円	本年度事業費	454千円	交付金交付額	210千円	
事業評価	事業の必要性	市が取り組んでいる下水道整備について、供用開始が可能となった区域の公共施設等の接続に対し、積極的な水洗化を実施することでその利便性・快適性を周知することができる。					
	事業の有効性	各世代が利用する公共施設を先導的に接続することで、水洗化の利便と快適性を広く周知するとともに、下水道施設の費用対効果を高める。					
	事業の効率性	環境に配慮した地域水洗化を早期に実現するために、公共施設の下水道接続等を積極的に実施し、水洗化率の向上と下水道事業特別会計の効率的な財政運営を図る。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
	<p>供用開始区域の公共施設に、速やかに下水道接続等を実施することで、公営企業としての財政の健全化を図ることができる。</p>						
	6 その他の成果						
	<p>平成20年度実施施設 公共施設 1施設</p>						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		下水道整備推進対策事業					
事業の概要	<p>公共用水域の水質保全を図り、快適な生活環境の実現と美しい自然を保全し、市域の均衡ある発展に資するため、合併前からすすめられてきた下水道整備による水洗化に取り組む。</p>						
	事業期間	平成16年度～20年度					
	総事業費	2,575,000千円	本年度事業費	605,767千円	交付金交付額	1,880千円	
事業評価	事業の必要性	<p>恵まれた自然環境の保全と広域的な環境負荷削減のため、また安心して利用できる水を提供するために汚水処理施設整備は不可欠であり、市域の均衡ある発展に資するため計画的に整備をしていく必要がある。</p>					
	事業の有効性	<p>計画的に下水道整備を進め、その施設の機能と効果を最大限に発揮できるよう積極的に啓発・推進を行い、あわせて自然環境への影響を認識してもらう。</p>					
	事業の効率性	<p>整備区域内の計画的かつ効率的な整備とあわせ、完了後の速やかな供用開始によって、公営企業としての財政の健全化を図ることができる。</p>					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
<p>整備完了後の速やかな供用開始を促すため、受益者分担金の早期加入軽減や分納納付などの制度を設け、水洗化普及率の向上に努めた。</p>							
6 その他の成果							
<p>計画的に下水道整備をすすめていくことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めることができた。</p>							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。